

## 中学生の学校不適応における状態像の検討

菅原正和\*・粕谷貴志\*\*・河村茂雄\*

(1999年6月9日受理)

### 1 はじめに

学校現場においては、学校不適応問題は、非常に多様な様相を示し、原因も対応の仕方も混沌とした中にあり、それぞれの教師の経験則から暗中模索のなかで対応がなされているのが現状であろう。そのため、一部では学校、学級及び教師側の要因であるとして、これらの環境を整えることだけで学校不適応に対応しようとしたり、フリースクールや適応指導教室、養護学校への転校などによって、環境側である学校を変化させることによって、適応のマッチングをさせるという対策が行われ、本人の抱えている問題に直接アプローチしないという対応も広がってきている。

しかし、精神病を伴わない、長期に及ぶ無気力・社会的引きこもり状態の研究に、初発症状として不登校（登校拒否）の割合が高いと指摘される（稲村，斎藤，打木，池上，倉本，山登，菊池，米沢，1990）など、学校不適応が、その後の社会的不適応につながるサインであることが明らかにされている。このことは、本人側の抱える問題をそのままにして、環境側の変化によって対応し適応をはかっていくという姿勢が、本人側の問題から目をそらさせ、本人側の問題を未解決のままにしまったために、その後の状況によって、再び社会的不適応という形で問題が顕在化する可能性を示唆している。学校不適応における本人にかかわる問題への視点を明らかにして、それを予防する対策を施すことが急務であると思われる。

### 2 問題と目的

近年、不登校（登校拒否）児童・生徒数は、増加の一途をたどっている。文部省の学校基本調査によると「学校嫌い」を理由に年間30日以上欠席した不登校（登校拒否）の生徒数は、生徒数の減少にもかかわらず増え続け、平成9年度間の中学校における不登校（登校拒否）生徒数は約85,000人、発生率は、1.89%と高い発生率になり深刻な状況である。中学校においては、発生率で小学校の約7倍を超え、約53人に1人と高い割合になっており、大きな問題となっている。

さらには、小学校、中学校で不登校（登校拒否）は、青年期の出社拒否や引きこもりという現象とも関わっていることが指摘され（稲村ら，1990）、現在の学校現場における大きな課題とい

---

\* 岩手大学教育学部

\*\* 岩手県松尾村立松尾中学校

える。

各方面から対応の指針が出され(文部省, 1992, 1993 など), 対策が急がれているにも関わらず不登校(登校拒否)は増加の一途をたどり, 教育現場は対応の具体的な手だてを持たぬまま, 後手の指導に追われているのが現状である。

森田(1991)は不登校の「グレイゾーン」といわれる不登校潜在群とみられる生徒が存在していることを指摘した。つまり, 学校に登校はしているが, 欠席群と同じ学校回避感情を持ち, 「遅刻・早退」したり, 「がまんして登校する」といった状態の生徒が多数存在しているというのである。これらの潜在群は, 「欠席群」つまり, 不登校(登校拒否)へ転化する可能性を持っているといわれる。したがって, 学校現場で, 不登校(登校拒否)問題への予防的対応を考えるとき, 不登校(登校拒否)の問題に連続的につながっていると考えられるこの不登校潜在群, つまり, 学校への適応が良くなく学校に対してネガティブな感情を持っている生徒の問題までを視野に入れて考えていく必要があるといえる。

そこで, 本研究は, 学校現場での具体的な学校不適應への対応の方策を求めていくために, 公立中学校に登校する生徒を対象にアンケート調査を実施し, 欠席行動と理由および, 学校生活に関する自由記述から, 中学生の学校不適應の状態像を明らかにすることを目的とした。

### 3 方 法

(1) 調査対象： 岩手県内の公立中学校5校の1学年から3学年までの35学級の生徒1,157人が調査対象であった(Table 1)。

(2) 調査時期： 1998年7月下旬

(3) 手続： 岩手県内, 内陸都市部M市および周辺市町村, 内陸僻地I町, 沿岸都市部O市, 沿岸僻地T村の4つのエリアの学校に対して調査の依頼をし, 調査への協力の承諾を得られた5校に調査を実施した。

質問紙は, 欠席行動の程度と欠席理由の選択肢および, 学校生活に関する自由記述でおこなった。

調査の実施は学級担任に依頼した。本研究者が事前に質問紙を調査対象の学校の担当教諭に届け, 内容や実施手順を説明した。その際, 調査実施前に対象生徒に対して, 本調査が学校の成績や本人の評価は一切関係がないこと, 調査用紙を担任等, 学校の先生が見ることはないことを説明することも依頼した。また, 質問紙への回答は無記名とし, 念のため生徒に個別に封筒を渡してその場で封をして提出するようにした。

### 4 結果と考察

次の抽出条件①, ②にあてはまる31人分(男子14人, 女子17人)のデータを抽出し(抽出データA), 欠席行動の程度と主な欠席理由および, 学校生活に関する自由記述を示した(Table 2)。

①年間の欠席日数の質問項目で「14～30日ぐらい」または「30日以上」を選択

②欠席理由で「学級の雰囲気がよくない」, 「いじめられそうだから」, 「学校での学習がイヤで」を選択。または, 自由記述に学校回避感情や学校生活についての不安の記述がある。

さらに, 抽出条件①にはあてはまらないが(欠席日数はおよそ14日未満), 抽出条件の②にあ

てはまる 93 人分 (男子 43 人, 女子 50 人) のデータを抽出し (抽出データ B), 欠席行動の程度と主な欠席理由および, 学校生活に関する自由記述を示した (Table 3-1, 2, 3)。

抽出データ A の 31 例は, 年間の欠席日数についての質問に「14~30 日ぐらい」または, 「30 日以上」と回答した生徒群であるので, 教師から見ても不登校 (登校拒否) 傾向であると認知されている生徒であると考えられる。この抽出データ A では, かぜや腹痛を欠席理由にあげた例

Table 1 サンプルの属性

調査実施地域

I 県内の県庁所在都市及び周辺部, 沿岸都市, 沿岸北部僻地, 内陸北部僻地

調査対象中学校の所在地域と学校規模

K 中学校	県庁所在 M 市	学級数 14
M 中学校	M 市近郊 T 村	学級数 7
O 中学校	沿岸部 O 市	学級数 11
T 中学校	沿岸僻地 T 村	学級数 6
I 中学校	内陸僻地 I 町	学級数 3

調査対象学級数と人数

35 学級

K 中学校	—1 年生 4 学級, 2 年生 5 学級, 3 年生 4 学級	(471)
M 中学校	—2 年生 2 学級	(69)
O 中学校	—1 年生 3 学級, 2 年生 4 学級, 3 年生 4 学級	(372)
T 中学校	—1 年生 2 学級, 2 年生 2 学級, 3 年生 2 学級	(191)
I 中学校	—1 年生 1 学級, 2 年生 1 学級, 3 年生 1 学級	(54)
		(合計 1157)

有効回答数 (有効回答率 96.54%)

K 中学校	—1 年生 4 学級, 2 年生 5 学級, 3 年生 4 学級	(453)
M 中学校	—2 年生 2 学級	(69)
O 中学校	—1 年生 3 学級, 2 年生 4 学級, 3 年生 4 学級	(359)
T 中学校	—1 年生 2 学級, 2 年生 2 学級, 3 年生 2 学級	(182)
I 中学校	—1 年生 1 学級, 2 年生 1 学級, 3 年生 1 学級	(54)
		(合計 1117)

学年別

1 年生	336 (K 中学校—156, O 中学校—107, T 中学校—50, I 中学校 23)
2 学年	438 (K 中学校—170, M 中学校—69, O 中学校—118, T 中学校—65, I 中学校—16)
3 学年	343 (K 中学校—127, O 中学校—134, T 中学校—67, I 中学校—15)
全学年合計	1117 (K 中学校—453, M 中学校—69, O 中学校—359, T 中学校—182, I 中学校—54)

性別

男子	543
女子	574
合計	1117

Table 2 抽出データ A の学年、性別、欠席日数、主な欠席理由および自由記述

No.	Grade	Sex	欠席日数	かぜや腹痛 いた頭痛など	病気やけが による通院 や入院	学級の雰囲気 がよくな い	いじめられ そうだから	学校での学 習がイヤで	その他	自由記述「あなたは現在の自分の中学校生活について、どのように感じていますか。思いつくまま自由に書いて下さい。」
A1	1	f	30日以上	○	○	／	／	○	／	これからどうなるかわからないけど、今は、すごく楽しいのでいいと思う。
A2	3	m	30日以上	／	／	／	／	／	○	つまらない
A3	2	f	30日以上	○	／	／	／	○	／	
A4	2	m	30日以上	○	／	／	／	／	／	たいくつ
A5	2	f	30日以上	○	○	／	／	／	／	学校の先生の中で、授業中に少しでも下を向いたり話したりしていると言行や悔意、ぼそっと小口で「なんなんだれ」とかいう人がいる。友達はその先生に「やめて下さい」的なことをいってほしいけど、まだおぼえています。とっても気分が悪くなるので、やめてほしい。
A6	2	f	30日以上	○	／	／	／	／	／	いじめられそうな気が少しするから、すぐに学校へ行きたくなくなる。
A7	2	f	30日以上	／	／	／	／	／	／	あまり充実感を感じない。毎日友人関係などの問題で苦しんでいる。学校に行くのがつかれる。
A8	3	m	30日以上	／	／	／	／	／	○	その他の理由に「べつに」と記述。クラス変えをほかの学年はやったのにわたしたちのクラスだけしなかったのはちょっとひどいなと思った。クラスの雰囲気は良くないからクラスがえしてほしい。
A9	3	f	30日以上	○	／	／	／	○	／	前よりなんかよくなったと思う。
A10	3	f	30日以上	○	／	／	／	／	／	自分では充実している生活とは思えない。もっと自分から変えていきたいと思っている。先生も考えてほしい。
A11	3	m	30日以上	／	／	／	／	○	／	とくになし。
A12	1	f	14～30日ぐらい	○	／	／	／	／	○	楽しいときは楽しいけど、ほとんど毎日が不安でいっぱいです。でも友達といるとすごく楽しいです。
A13	1	f	14～30日ぐらい	○	○	／	／	／	／	もうイヤだ。自分なんか大キライ。みんな、みんな大キライ。親友が欲しいです。
A14	2	m	14～30日ぐらい	○	／	／	／	／	／	ひきましている先生がいると思う。ちょっとした手違いでこの部活に入ってしまったので後悔。早く毎週土曜日、休みにしてほしい。
A15	2	m	14～30日ぐらい	／	／	／	／	／	○	だるい。
A16	1	m	14～30日ぐらい	○	／	○	／	／	○	その他の理由の欄に「がっさうになれていない」と記述がある
A17	1	f	14～30日ぐらい	／	／	／	／	○	／	とくになし
A18	2	f	14～30日ぐらい	○	○	／	／	／	／	
A19	2	m	14～30日ぐらい	／	／	／	／	／	○	ひま。担任がイヤ。むかつく。
A20	2	m	14～30日ぐらい	○	○	○	／	／	／	
A21	3	f	14～30日ぐらい	○	／	／	／	／	／	いつも、勉強しなきゃって思っているけど勉強できない。気持ちに負けてしまっている。だから3日ポーズになったり、テストの点が上がらないんだと思う。交友関係に付いても悩んでいることがある。
A22	3	f	14～30日ぐらい	○	／	／	／	／	／	その他の理由に「楽しくない」と記述あり
A23	3	f	14～30日ぐらい	○	／	／	／	／	／	私のクラスではめだつ人とめだたない人がはっきりと分かれていて、めだたない人はめだつ人のいいなりになっていると思う。
A24	2	m	14～30日ぐらい	／	／	／	／	／	○	その他の理由に「おむくて、あと、めんどろくすき」と記述。まあまあ楽しいといえば楽しい。だけど、行事などムダなことが多すぎでめんどろくさい。イラつく。
A25	2	f	14～30日ぐらい	／	／	／	／	／	○	その他の理由に「行くのがめんどろくさい」と記述。
A26	2	f	14～30日ぐらい	○	／	○	／	○	／	満足感はあまりありません。クラブは楽しいのですがこもんの先生があまり信頼できる先生ではないのでイヤになっています。クラスの中には友達がいるのですが、あまり親しくない人たちはいつも集団でだれかの悪口を言っています。あまり、良くは思えません。
A27	2	m	14～30日ぐらい	／	／	○	／	○	○	その他の理由に「学校がめんどろくさい」と記述。授業が僕の学力に追いつかない。まわりの人のレベルが低すぎる。
A28	2	m	14～30日ぐらい	○	／	／	／	○	／	休む日が多いことがある。
A29	2	f	14～30日ぐらい	／	／	／	○	／	／	クラスがえをしたらあんまり友達ができなくて、イヤだ。なんか前のクラスの方が良かったような気がする。
A30	3	m	14～30日ぐらい	○	○	／	／	／	○	その他の理由に「いくのがめんどろく」と記述。クラスの中で、なかのよいもだちがあまりいなくて、このクラスにいい人がいないやなことときどきある。べつのクラスがよかったといつも思うことがある。まんでくかんがせんせんない。だからべんきょうがつまらない。
A31	2	m	14～30日ぐらい	○	○	／	／	○	／	

○：選択（記述あり） ／：選択なし

Table 3-1 抽出データ B の学年, 性別, 欠席日数, 主な欠席理由および自由記述

Data No.	Grade	Sex	欠 席 日 数	かぜ腹痛頭痛など	病気やけがによる通院や入院	学校の雰囲気や入学	いじめられそうだから	学校での学習がイヤで	その他	自由記述「あなたは現在の自分の中学校生活について、どのように感じていますか。思いのまま自由に書いて下さい。」
B1	1	f	7~14日ぐらい	○	○	/	/	○	/	みんなクラスの人たちは明るくていいと思う。私は自分の性格をもっと明るくしたいし、積極的にになりたい。私には悩みとか相談できる友人がいていいと思う。
B2	2	m	7~14日ぐらい	○	/	/	/	○	○	
B3	2	m	7~14日ぐらい	/	○	/	/	○	/	ない。
B4	2	f	7~14日ぐらい	/	/	/	/	○	/	
B5	1	f	7~14日ぐらい	○	/	○	○	/	/	最悪。男子は席にはいってほしくない。女子だけの班がほしい。男子とは別行動をとりたい。耳栓しながら勉強したい。給食じゃなくて弁当がいい。好きな人どうして食べたい。中学校をやめたい。
B6	2	m	7~14日ぐらい	○	/	/	/	○	/	学校がとてつもない
B7	2	f	7~14日ぐらい	○	○	/	/	○	/	大変だと思う。
B8	3	m	7~14日ぐらい	○	/	/	/	○	○	その他の理由に「めんどうくさいから」と記述あり。
B9	3	m	7~14日ぐらい	○	/	/	/	○	/	とてもいいと思う
B10	3	f	7~14日ぐらい	○	○	○	○	/	/	もっと開放的な生活をしたい。校則にじばられたくない。
B11	1	m	7~14日ぐらい	/	○	/	/	○	○	その他の理由に「つまらないから」と記述。学校にいても家にいても楽しいことが思くて(多くで?)あきない。
B12	1	m	7~14日ぐらい	/	/	○	○	○	/	イヤな学校。しんようできない。むしはあたりまえ。さべつ。
B13	1	f	7~14日ぐらい	○	/	/	/	○	○	その他の理由に「つかれたりしていきたくない」と記述。つまらない。
B14	1	f	7~14日ぐらい	○	/	○	○	/	/	小学校のころは、けっこういじめられてきたけど新しい友達ができ、いじめられなくなった。
B15	2	f	7~14日ぐらい	○	/	/	/	○	○	その他の理由に「学校に行こうとする気持ちがもてない」と記述。とくにやりたいこともなく人に流されているような感じがする。
B16	3	f	7~14日ぐらい	○	/	○	/	/	○	その他の理由に「つかれるから」と記述。私は、先生たちをあまり信頼していないので、どんな話を聞いたりしてもなんだか、さめてるような気がする。(自分が信頼していないのだから、先生も信用するわけがないけど)
B17	3	f	7~14日ぐらい	/	/	○	/	○	○	その他の理由に「学校がイヤだから。」と記述。もう、学校もつまんないし、友達もつまんない。だから来たくない。
B18	1	f	7~14日ぐらい	/	○	○	/	/	○	
B19	3	f	7~14日ぐらい	○	/	/	/	/	○	その他の理由に「嫌がらせをされそうで、イヤな友達がいる。」と記述あり。
B20	1	f	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	とくにといってありません。けど、みんな楽しく会話ができるので良いと思うときもある。悪く考えるときもあります。以上
B21	1	m	3~7日ぐらい	○	○	/	/	○	/	とてもおもしろい中学校。
B22	2	f	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	仲のいいグループ友達がいてけっこう楽しい。
B23	2	f	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	はじめはあまり友人関係などよくなかったけど、今はけっこう友人関係なども良くなったし中学校生活は楽しいと思います。
B24	2	f	3~7日ぐらい	○	/	/	○	○	/	早く卒業したい。つまらない。本当にこんなのでいいのか。きたくない。
B25	3	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	何もかも先生達で勝手に決めて、行事など色々してしまうから納得いかないし、教師にみくだされている感じがする。ひいきをしている先生がいるからほらが立つ。
B26	3	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	/	/	楽しくない。
B27	3	m	3~7日ぐらい	○	○	/	/	○	/	ボーっとしていることが多い。
B28	3	f	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	ただいだけ。何の意味もないと思う。
B29	3	f	3~7日ぐらい	○	○	○	/	/	/	いまは、たのしくなった。
B30	3	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	/	/	まとまりのない中学校だと思っている。
B31	2	m	3~7日ぐらい	○	○	○	/	/	/	あまり存在感がなく、自発的にやる気がしない。自分の思うような生活でない。

○：選択(記述あり) /：選択なし

Table 3-2 抽出データ B の学年、性別、欠席日数、主な欠席理由および自由記述

Data No.	Grade	Sex	欠席日数	かぜや腹いた頭痛など	病気やけがによる通院や入院	学級の雰囲気	いじめられそうだから	学校での学習がイヤで	その他	自由記述「あなたは現在の自分の中学校生活について、どのように感じていますか。思いつくまま自由に書いて下さい。」
B32	1	f	3~7日ぐらい	○	○	○	○	○	○	
B33	2	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	/	○	なんだかとても重苦しいと感じる。
B34	2	m	3~7日ぐらい	○	/	/	○	/	/	いやなものだ
B35	2	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	/	○	ぶつろ。部活は全然楽しくない。担任も大嫌い。けど、仲がいい人がいるから行っている。私の友達の子は、なぜか、学校に来ていないから、他の子とまっとうまっとうやってるけどやっぱり気が合わない。来ても楽しくない。学校があるから、世の中でいじめがあった
B36	2	m	3~7日ぐらい	/	/	/	/	○	/	
B37	2	f	3~7日ぐらい	○	○	/	/	○	/	グループ内とかならいいけどあまり楽しくない。
B38	3	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	○	/	全然学校が楽しくなくて、いつも来るのがイヤだ。友達関係がうまく行かないからちょっと……。先生がうるさい。
B39	3	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	/	/	この学校はいずらい。はっきり言って、早く卒業したい。自分のことをよく思っていない人がいるし、私にとっては、毎日が緊張していて安心できない。もっと穏やかなところへ行きたい。
B40	3	m	3~7日ぐらい	○	/	○	/	○	/	
B41	3	m	3~7日ぐらい	○	○	/	/	○	/	
B42	3	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	○	/	楽しいけど、何かかかっているように思う。いじめとかならいいけど学校がイヤになることがある。行事などがあると学校が楽しく感じる。中学校を卒業したくない。まとまりのないクラスだけどずっとみんなと勉強していきたい。
B43	3	f	3~7日ぐらい	○	○	○	/	/	/	今の学級はとても嫌いだ。おもしろくない。もっとまとまりたい。
B44	3	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	ちょっとだからだしている。
B45	3	m	3~7日ぐらい	/	/	/	/	○	/	
B46	1	f	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	もっと友達を増やしたい。(きがるに話せるね)
B47	1	m	3~7日ぐらい	○	○	○	/	/	/	あまり楽しいとは思わない。自分は他人とちがう点が多い。
B48	1	m	3~7日ぐらい	/	/	/	/	○	/	
B49	1	f	3~7日ぐらい	○	/	/	○	/	/	あんまり感じない。ただ、仲のいい友人と合うと、ホッとする。
B50	2	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	その他の理由に「ぼつとしたことがないいつも同じ学校生活だから」と記述。ぼくは友達がいて楽しい部分もあるけど、つまんない。学級と勉強が嫌です。だけと昼休みや、授業の合間の休み時間、部活がたのしい。そのために学校に来ている。あと、彼女がいるから学校に来ている
B51	2	f	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	その他の理由に「とにかくイヤだ」と記述。クラブがイヤだ。入りたいやつだけはいればいい。友人をなくしそうで、話すときすごい不安をもっている。すごい寝れる。あまり人をしんじない。友人はいるけどできるだけ一人の方がいい。死にたいと思うときもある。友人との話しは楽しいが、学校生活はとってもつまんない。
B52	2	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	
B53	2	m	3~7日ぐらい	○	/	○	/	○	/	勉強してもあまり意味がないと思う。
B54	3	f	3~7日ぐらい	○	/	/	○	/	/	つまらない。学校のふんいきがいやだ。
B55	3	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	
B56	3	f	3~7日ぐらい	○	/	/	○	/	/	いじめられているわけじゃないけど、本当の親友がいなくてきびしい。
B57	3	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	その他の理由に「学校に行きたくないときびきょうを使う」と記述。きびきすぎでイヤです。
B58	1	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	
B59	1	f	3~7日ぐらい	○	/	○	/	○	/	
B60	2	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	
B61	2	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	/	
B62	2	m	3~7日ぐらい	○	/	/	/	○	○	

○：選択（記述あり） /：選択なし

Table 3-3 抽出データ B の学年、性別、欠席日数、主な欠席理由および自由記述

Data No.	Grade	Sex	欠席日数	かぜや腹痛、頭痛など	病气やけがによる通院や入院	学級の雰囲気や関係がよくなる	いじめられそうだから	学校での学習がイヤで	その他	自由記述「あなたは現在の自分の中学校生活について、どのように感じていますか。思いのまま自由に書いて下さい。」
B63	3	m	3~7日ぐらい	○	○	○	○	○	○	
B64	1	f	3~7日ぐらい	○	○	○	○	○	○	友人関係が難しいとおもった。いじめられそうだから。学校に来るのがイヤ。
B65	1	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	クラスメートがイヤだ。
B66	1	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	つまらないと思う。
B67	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	毎日学校に行くのがイヤになる。あまり友だちがないので学校にきてても楽しくない。友だちには親切にしているつもりだけど、かけでは悪口を言われている。太っているのでみんなの目になる。あまり充実感がない。でも、友だちといると楽しい。ときもある。
B68	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	ずんごい学校生活だ。いじめなどどうにかして欲しい。楽しいときは楽しいが、イヤなときは本当にイヤ。
B69	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	自分は学習するのほかにみんなに会うのがイヤだ。
B70	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	つまない。むかつく。
B71	3	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	楽しい。
B72	3	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	つまらない。今学校でやっていることは、別に、将来のためにならない。
B73	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	いいクラスだし、仲のよい友達もいる。こんな生活を続けていきたい。
B74	1	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	すごく楽しい友人もいっぱいできたからよかったし部活も楽しいと思う
B75	1	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	バレーを頑張る
B76	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B77	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B78	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	少し担任の先生の視線が冷たいような感じがする。もう少し、一人ひとりの悩みを相談できる先生がいなければならぬと思った。
B79	3	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B80	1	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	楽しい。面白い。毎日充実した感じで生活を送っている。
B81	1	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	きそくがめんどうくさい。勉強の内ようがむずかしい。先生たちがほとんどきらい。
B82	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	友人と会えてたのしべんだけ、きそくべんきよってかたからすきではない。ぼくはクラブのために学校に行く。
B83	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	その他の理由に「いくのがめんどういから」と記述。ふつうになにもない生活でよくふつういぼんな中学校生活を送っている。だがべんきよはつまらない。学校に来るのがイヤなときがある。前の学校はとでもよかった。
B84	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	今の学校はきまりでみんなをしぼりつけているきがある。服装一つでおこったりなぐったりするのはよくない。全部の先生ではないけれど、先生らしくない先生もいる。やめてもらいたい。学校がおもしろくない。ムカツクのが大きい。
B85	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	クラスのだれかにまがらってぶつかったときに「くさった」とかいわれる。僕だけに注意してくる。すぐに殴られる。僕の人生をつぶそうしている人がいる。もう悪口を言ったりする人が多いクラスにいたくない。そういう悪口を言ったヤツをおかえしがわりに思いっきり殴りたいきそくがきびしすぎる。いちいちうるさい。細かいことうるさすぎる。勉強がつまらない。ひいきとかしないでほしい。勉強時間がおもしろいとおもることがたまにしかない。
B86	2	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B87	3	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B88	3	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B89	3	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B90	3	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B91	3	f	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B92	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	
B93	2	m	3日未満	○	○	○	○	○	○	学校がつまらない。たまにいじめられる。死ぬなどといわれる。

○：選択（記述あり）    /：選択なし

が31例中20例あり、その全ての例で、身体症状による欠席理由だけでなく、学校生活に対するネガティブな回答を選択したり、記述をしていた。このことから、身体症状を理由に休みがちな生徒のなかに、学校生活での悩みを抱えている生徒が多数存在することが示唆された。

次に、抽出データAの31例中12例に「学級の雰囲気がよくない」や「いじめられそうだから」と回答したり、その他の欠席理由や自由記述に学級の集団や対人関係に関する記述があった。その12例中6例が、主な欠席理由に「いじめられそうだから」と回答したり、具体的な学級の集団との関わりや、友人関係の悩みを記述していた。不登校（登校拒否）の契機の第1に「友人関係をめぐる問題」（文部省，1992）が指摘されているが、本研究でもそれを支持する結果が得られたと考えられる。

また、抽出データAの31例中10例が、「学校での学習がイヤで」という欠席理由を選択している。学校での学習や成績も学校不適応の要因として存在していることを示唆している。

さらに、自由記述の中で、5例が教師との関係についての記述をしており、学校不適応にいたる要因の一つとして、教師との関係があることが推測される。

抽出データBの93例は、年間の欠席日数に関する質問に、「3日未満」、「3～7日ぐらい」、「7～14日ぐらい」と回答した生徒群である。したがって、学校不適応状態であるが、欠席をあまりせずに登校を続けている生徒群である。学校回避感情を持っていても、登校を続けている生徒群の存在を指摘した、不登校潜在群としての「グレイゾーン」（森田，1991）に該当する生徒であると考えられる。

この抽出データBでは、かぜや腹痛を欠席理由にあげた例が93例中78例あり、その全ての例で、抽出データAと同様に身体症状による欠席理由だけでなく、学校生活に対するネガティブな回答選択したり、記述をしていた。目立った欠席行動をとまなわないう学校不適応生徒群においても、身体症状を訴える生徒のなかに、学校生活での悩みを抱えている生徒が多数存在することが示唆された。

また、抽出データBの93例中41例に「学級の雰囲気がよくない」や「いじめられそうだから」と回答したり、その他の欠席理由や自由記述に学級の集団や対人関係に関する記述があった。その41例中26例が、欠席理由に「いじめられそうだから」と回答したり、具体的な学級の集団との関わりや、友人関係の悩みを記述していた。これは、抽出データAの欠席行動をとまなう学校不適応生徒群と同様の傾向であり、欠席行動が増加する、または、不登校（登校拒否）の契機となり不登校（登校拒否）に転化する可能性が考えられる。

また、抽出データBの93例中64例が、「学校での学習がイヤで」という欠席理由を選択している。目立った欠席行動をとまなわないう学校不適応生徒群においても、学校不適応の要因として、学校での学習や成績の問題が存在していることを示唆している。

抽出データAの欠席行動をとまなう学校不適応生徒群においても、抽出データBの目立った欠席行動をとまなわないう学校不適応生徒群においても、かぜや腹痛などの身体症状を訴える生徒の中に、学校生活の中での悩みを抱えている生徒が多数存在することが示唆されている。学校不適応生徒への支援、援助の在り方を考えたときに、このレベルの生徒は、現状では学校の教師からは、単なる体調不良の生徒として、見過ごされがちな生徒であると考えられる。欠席行動をとまなう生徒群においては、身体症状以外の要因に対しても援助がなされている場合もあると考えられるが、目立った欠席行動のとまなわないう学校不適応生徒群においても、配慮の必要性が考えられる。日常的な観察やふれあいに加えて、生活実態に関わる網羅的な個別面



接の機会をもうけたり、学校生活へのモラールや満足度を測る尺度を用いて、定期的にあセスメントを行う必要があると考えられる。

また、学校での集団との関わりや友人関係などの問題をあげた生徒が、抽出データ A、B ともに約 40% 程度見られた。このことから、対人関係形成能力やソーシャル・スキルの問題が存在していることが示唆される。現在、これらの問題は、生徒の学校への適應や不登校（登校拒否）との関わりが指摘されており（河村，1999 戸ヶ崎，秋山，島田，坂野，1995），学校現場における不適應生徒への支援や学校不適應の予防的介入を考える上で、大きな鍵を握っていると考えられる。したがって、学校で行われる教育活動の中で、集団内の生徒相互のリレーションを高めたり、ソーシャル・スキルを向上させたりする介入がこの問題の解決や予防に効果をもつと考えられる。具体的に学校での教育的介入としては、行事や特別活動の中で、生徒相互のリレーションやソーシャル・スキルの向上を指導の視点に入れた活動を取り入れたり、ソーシャル・スキル・トレーニングや構成的グループ・エンカウンターなどの要素をいかした集団への介入が考えられる。

対人関係形成能力やソーシャル・スキルという本人の問題の視点をもって介入していくことは、学校不適應をくり返したり、その後の社会的不適應に転化させないためにも現在の学校現場で必要とされている対応策であろう。集団体験の不足が指摘される現在、学校での集団内で生徒同士の相互作用を有効に活用した介入が求められていると思われる。

#### 引用文献

- 1) 稲村博，斎藤環，打木悟，池上恭司，倉本英彦，山登敬之，菊池章，米沢（1990）青年期の無気力・社会的ひきこもり事例の発生要因と対策に関する研究。安田生命研究助成論文集，26（2），1-10.
- 2) 河村茂雄（1999）生徒の援助ニーズを把握するための尺度の開発（1）—学校生活満足度尺度（Satisfaction with School Life Scale: SASLIS）（中学生用）の作成—カウンセリング研究（印刷中）.
- 3) 戸ヶ崎泰子，秋山香澄，島田洋徳，坂野雄二（1995）中学生の社会的スキルが友人関係と学校不適應感に及ぼす影響。日本教育心理学会第 37 回総会発表論文集，557.
- 4) 森田洋司（1991）「不登校」現象の社会学。学文社.
- 5) 文部省（1992）今後の登校拒否問題への対応について：登校拒否（不登校）問題について—児童生徒の「心の居場所」づくりを目指して— 文部省初等中等教育局，14-48.
- 6) 文部省（1993）登校拒否児童生徒に関する調査結果。文部省初等中等教育局中学校課.